

【成果名】 鉢花用フランネルフラワー新品種「ベラフィオレビアンカ」の育成	
【要約】 鉢花フランネルフラワーの新品種「ベラフィオレビアンカ」は、小輪多花系品種では初となる四季咲き性を示す白色品種であり、花はやや小ぶりで、分枝数が多く多花性を示す。また、黄下葉の発生が少なく、出荷前の除去作業が容易となる。草姿はコンパクトになり、小鉢生産向きの品種である。	
岐阜県農業技術センター 花き部	【連絡先】 058-239-3132

【背景・ねらい】

県育成の鉢花用フランネルフラワーは、オリジナル品種として消費者や生産者から高い評価を得てきた。また、品種構成の多様化を進めており、消費者の多様なニーズに対応し、需要拡大を図ってきた。しかし、近年、需要が高まっている小輪多花系品種は、春一季咲き性の開花習性のもののみであり、消費者ニーズに対応できていない。また、蕾形成後、徐々に黄下葉が発生し、出荷前の調整作業が煩雑となるため、黄下葉が発生しない品種が望まれていた。そこで、白色小輪多花の四季咲き性であり、黄下葉が発生しない鉢花品種を育成する。

【成果の内容・特徴】

- 1 花の直径は「リトルエンジェル」と「エンジェルスター」より小さい5.3cmである（表1、図1）。
- 2 花の中心径は「リトルエンジェル」と「エンジェルスター」より小さい1.1cmである（表1）。
- 3 総ほう片の長さは「リトルエンジェル」と同程度で、「エンジェルスター」より短い2.4cmである（表1）。
- 4 総ほう片の主な色は「リトルエンジェル」と「エンジェルスター」と同じ白色であり、総ほう片の外側に緑色がわずかに入る（表1、図1）。
- 5 開花習性は四季咲き性で、黄下葉の発生はみられない（表1）。
- 6 草丈は「リトルエンジェル」と同程度で「エンジェルスター」より低い34.4cmである（表2、図2）。
- 7 株幅は「リトルエンジェル」と「エンジェルスター」より狭い28.1cmである（表2）。
- 8 茎の太さは「リトルエンジェル」と同程度で「エンジェルスター」より細い3.3mmである（表2）。
- 9 葉身長は「リトルエンジェル」と同程度で、「エンジェルスター」より短い5.4mmである（表2）。
- 10 1次分枝数は「リトルエンジェル」と「エンジェルスター」より多い18本である（表2）。

以上の結果、「ベラフィオレビアンカ」は、小輪多花系品種では初となる四季咲き性を示す白色品種であり、花はやや小ぶりで、分枝数が多く多花性を示す。また、黄下葉の発生が少なく、出荷前の除去作業が容易となる。花軸が硬く、草姿はコンパクトになり、小鉢生産向きの品種である。

【成果の活用・留意点】

- 1 開花特性が四季咲き性であり、播種時期と冬季管理温度並びに植物成長調節剤の散布により3月から5月の春季、9月から11月の秋季の出荷が可能である。
- 2 播種時期は、春季の出荷の場合は6月から7月、秋季出荷の場合は3月から5月に行うが、5月播種の場合、出荷時期が長期化する可能性があるため、注意が必要である。
- 3 本品種は品種登録出願中である。

【具体的データ】

表1 「ベラフィオレビアンカ」の花の特性

品種名	花の直径 [cm]	花の中心径 [cm]	総ほう片長 [cm]	総ほう片の 主な色 注)	開花習性
ベラフィオレビアンカ	5.3	1.1	2.4	白(155B)	四季咲き
リトルエンジェル (対照)	6.4	1.5	2.7	白(155B)	一季咲き
エンジェルスター (対照)	8.0	1.4	3.9	白(155B)	四季咲き

注) カッコ内はカラーチャートの色票番号

表2 「ベラフィオレビアンカ」の形態特性

品種名	草丈 [cm]	株幅 [cm]	茎太 [cm]	葉身長 [cm]	1次分枝数 [本]
ベラフィオレビアンカ	34.4	28.1	3.3	5.4	18.0
リトルエンジェル (対照)	34.1	30.1	3.5	5.1	14.3
エンジェルスター (対照)	49.8	32.7	4.1	8.1	7.1



「リトルエンジェル」 「ベラフィオレビアンカ」 「エンジェルスター」

図1 花の比較



「リトルエンジェル」 「ベラフィオレビアンカ」 「エンジェルスター」

図2 草姿の比較

研究課題名：新規需要の創出に向けたオリジナル花きの育成（令和2～6年度）

研究担当者：福田富幸